



夏、本番！ いかがお過ごしですか？

総会が 無事に終わってホッとする それもつかの間 もう夏祭り

去る6月21日日曜日に2015年度 第16回総会が終了しました。

会員数56名中総会参加17名、委任状提出34通と、残念ながら参加者は少なかったのですが、総会は成立しすべての議案に対して無事に承認をいただきました。ありがとうございました。

事業所運営の資金繰りについては、今年4月より介護保険の給付見直しが行われ、その他の福祉関連と共に大幅な減額となり、小規模事業所はますます運営が困難な状況に追い込まれています。

先日、新しい利用者さんの担当者会議に出席しました。会議終了後に担当ケア・マネージャー、ヘルパー事業者、利用する通所介護施設、介護用品事業者と、それぞれが差し出す契約書と重要事項説明書、個人情報取り扱い同意書、ケアプラン、介護サービス計画書、それぞれ2通に直筆のサインと捺印（すべての書類を説明し確認の上）をいただくという近頃に行われるいつもの光景が見られましたが、なんとなく違和感を感じるのは、私だけなのでしょうか？国が目指す「制度を強化すること」「質の向上」とは、いたずらに書類を増やすだけのようには思えてなりません。

平成28年4月より予防介護（要支援1、2の方）と小規模事業所（月間延べ利用者数300名以下）は各市町村に移管されますが、その行政手続きや内容は場当たりの、先行きはとても不透明です。年金で暮らせない高齢者や、独り暮らしの方など、明日も見えない大きな不安を抱えたまま、毎日^{ゆううつ}を過ごされている人々を置き去りにして、安保法案の議論が優先され、とても憂鬱な気分になります。（次ページに続く）



では、総会で承認を頂いた各事業の報告をいたします。

「よらんかん」事業はアンテナショップ、食事処、介護予防拠点・地域交流事業の3つの機能を持つ施設として定着しています。また、グループホームの買い物代行を請け負い、集客や収入の増加に努めています。また、商店街や福祉団体などと協力し、様々な催しに参加しました。よらんかんの独自企画を行い、多くの方の協力や出会い、つながりの場となりました。



移動販売「よらんカー」事業はもうすぐ5年目を迎えます。どの販売先でも、笑顔で待ってられるお客さんが多く、受け入れ先の施設や、その施設の職員さん達の理解や協力を得て大変好評です。今後の展開を考え、新たに2名のパートスタッフを雇用しましたが、売り上げも順調で、収支に支障はありませんでした。

宅者所「藤井さん家」は今年はじめ、通所されていた方7名が体調を壊されて入院し、開所以来の危機的運営状況となりましたが、その内4名が復調され、今年度に入り少しづつ回復の兆しが見え、スタッフ一同がんばっています。

7月29日に梅雨が明けていきなりの猛暑。宅者所の室内の気温はクーラー全開でも30℃を越す勢い。いつもより水分を多めに飲んでもらい、熱中症対策は万全、散歩の好きな利用者さんには室内でのラジオ体操で体を動かしてもらい(いつもの嚙下体操をした上に)我慢していただいて予防しています。宅者所では開所以来お盆のお休みがありません。スタッフには苦勞をかけますが、利用者の毎日の生活を支える為にガンバリマス！この暑さではお出かけすることは控えています。みんなで元気にこの夏をのりこえます。

「藤井さん家」では利用者さんを変わず募集しています、介護でお困りの方、ご相談下さい。又見学も、お電話をくださればいつでも対応いたします。

かねてよりよかよかネットワークで検討してきた「^{ついですみか}終の棲家」計画は、建設資金の問題や、運営経費の問題、職員の確保等今の私たちではあまりにも大きな障壁があり、とても残念ですが断念することを今回の総会で報告しました。しかし、決して諦めたわけではありません。今中心となっている理事やスタッフの中にも高齢当事者(私も含めて)として、この問題は避けて通る事はできないと思っています。「^{ついですみか}終の棲家」については、引き続き住処を作ることにこだわらず、サービス等による「^{ついですみか}終の棲家」支援を考えていきたいと思っています。

皆さまの、ご理解とご協力をこれからも宜しくお願い致します。(ジロ)

